

国有地 格安払い下げ？

表題は中日新聞 2月18日「特報」。リードから一大阪市淀川区の学校法人「森友学園」が運営する幼稚園が在日外国人に対するヘイトスピーチまがいの文書を保護者に配っていた問題には、さらに注目すべき点がある。この学園の小学校建設のために大阪府豊中市の国有地が更地としての評価額よりも低価格で払い下げられ、学園側の意向を受けて、その売却額を国が非開示にしていたことだ。建設される小学校の名誉校長は、安倍晋三首相の妻昭恵さん。首相は関与を否定するが、学園は当初「安倍晋三記念小学校」の名目で建設の寄付を募っていた。



「瑞穂の国記念小學院」は、どんな学校になるのか。開校準備室のホームページは、「日本初で唯一の神道の小学校」として教育理念に「日本人としての礼節を尊び、愛国心と誇りを育てる」を掲げる。名誉校長の昭恵さんは「優れた道德教育を基として、日本人としての誇りを持つ、芯の通った子どもを育てる」とメッセージを寄せている。

校長は、森友学園の籠池泰典理事長。安倍首相の支持基盤である右派組織「日本会議大阪」の運営委員だ。学園が大阪市内で運営する塚本幼稚園は、国に尽くすことを定めた戦前の「教育勅語」を園児に暗唱させることで知られる。日本会議に詳しい著述家の菅野完氏は「籠池氏が日本会議の中で重きをなしているとは思えないが、塚本幼稚園は、日本会議の事務局を担う日本青年協議会周辺の会報などに頻繁に登場する」と指摘する。

塚本幼稚園を退園した子どもたちの母親たちによると、この幼稚園では小学校開校に向けた寄付を繰り返し要求された。1回2万円以上のケースもあった。その際に配られた銀行への振込取扱票に印字されていたのが、「安倍晋三記念小学校」の文字だった。園が昭恵さんを招いた講演に参加した母親は「園長は自信に満ちていて、政治との結び付きは深いと感じた」と振り返る。「愛国教育を重んじるのも、しつけのためならば良いかと思ったけれど、こんなに軍国じみていたとは……」と別の母親。園児たちは軍歌も教わった。皇族が大阪を訪問の際は、空港などで日の丸の旗を持って出迎えた。次第に違和感を覚えたという。

(2017年2月21日)